

株 主 の 皆 様 へ



第107期 中間報告書

2021年1月1日 ▶ 2021年6月30日

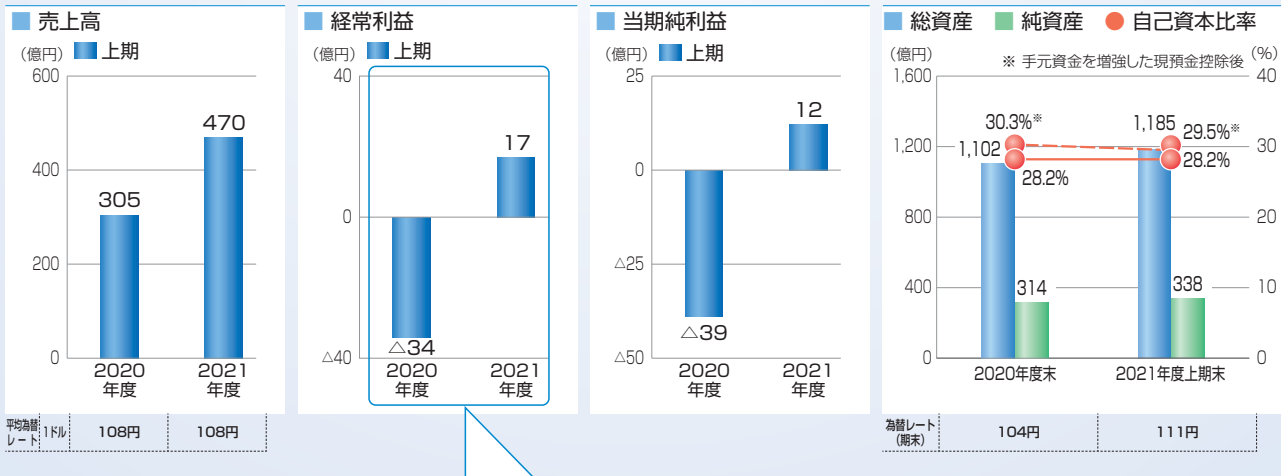
JUKI 株式会社

証券コード：6440

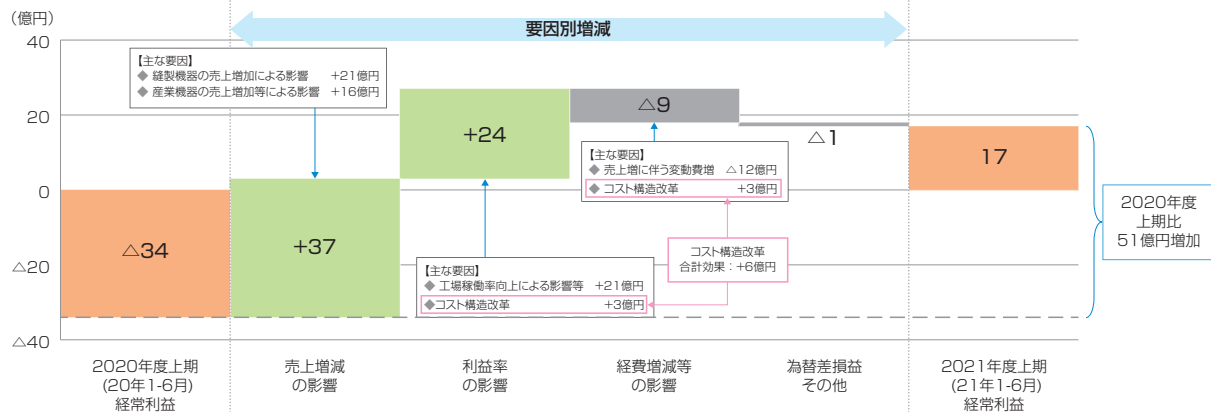
## 業績のポイント

売上高 470億円 (前年同期比 165億円の増加)  
 経常利益 17億円 (前年同期比 51億円の増加)  
 当期純利益 12億円 (前年同期比 51億円の増加)

売上高は、一部国・地域で新型コロナウイルス感染拡大の影響はあるものの、お客様の工場稼働率向上や設備投資需要回復が進んだことに加え、各事業において市場回復期の需要取り込みなど全社的に営業活動を展開した結果、前年同期比54.4%の増加。  
 利益面は、売上の増加及び工場稼働率が向上したことに加え、コスト構造改革で抑制した固定費削減の継続に努めた結果、経常利益は前年同期比51億円の増益。



### 2021年度上期 前年同期比 経常利益増減要因



株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第107期中間報告書（2021年1月1日から2021年6月30日まで）のお届けにあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、アジアや中南米等の新興国で新型コロナ感染拡大の影響が継続しているものの、いち早く回復した中国経済の拡大やワクチン接種が進んだ欧米など先進国での経済復興により回復局面に入っております。

当社を取り巻く事業環境は、一部国・地域で新型コロナ感染拡大の影響はあるものの、お客様である縫製工場の稼働率向上や5Gなどに牽引された半導体関連等の需要拡大により設備投資需要の回復が進み、またお客様のサプライチェーン分断への対応（生産地分散化）など、当社のビジネスチャンスに繋がる動きも始まっており、前年同期と比較すると大幅に改善しております。

また、AI/IoT/5G等技術革新の加速、市場/顧客の変化などニューノーマルな環境への対応や“持続可能な開発目標(SDGs)”への取り組み強化が求められる中、当社は2020年から2022年までを計画期間とする中期経営計画フェーズIIを見直し、付加価値構造改革及びコスト構造改革を強力に推進し、併せて6つの変革(6X)で事業戦略と体制戦略の変革を強力に推し進めることで、成長軌道への回帰と質の変換に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間においては、上記経済環境の活性化を捉え、各事業において市場回復期の需要取り込みなど全社的に営業活動を展開した結果、売上高は470億9千8百万円（対前年同期比54.4%増）となりました。

利益面につきましては、売上の増加及び工場稼働率が向上したことに加え、コスト構造改革で抑制した固定費削減の継続に努めた結果、営業利益は19億8百万円（前年同期は34億6千8百万円の損失）、経常利益は17億1千6百万円

（前年同期は34億4千2百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は12億2千1百万円（前年同期は39億2百万円の損失）となりました。

第3四半期以降も、一部の国・地域で新型コロナ感染が引き続き拡大しておりますが、5Gなどに牽引された半導体やロボット等の力強い需要拡大や、各国経済の活性化、新興国市場の拡大などを捉えた売上の着実な取り込みを実現するとともに、コスト構造改革を継続し、売上・利益の向上を図ってまいります。

なお、通期連結業績予想及び配当につきましては、欧米、中国は新型コロナ感染拡大による影響から回復しつつあるものの、アジアの新興国ではロックダウンが行われるなど、新興国での事業環境が不透明であることから、前回公表値（2月12日）から変更しておりません。今後、事業環境など当社の業績に与える影響を勘案した上で、予想値について精査してまいります。

株主の皆様におかれましては、一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長  
COO  
うちなし しんすけ  
内梨 晋介

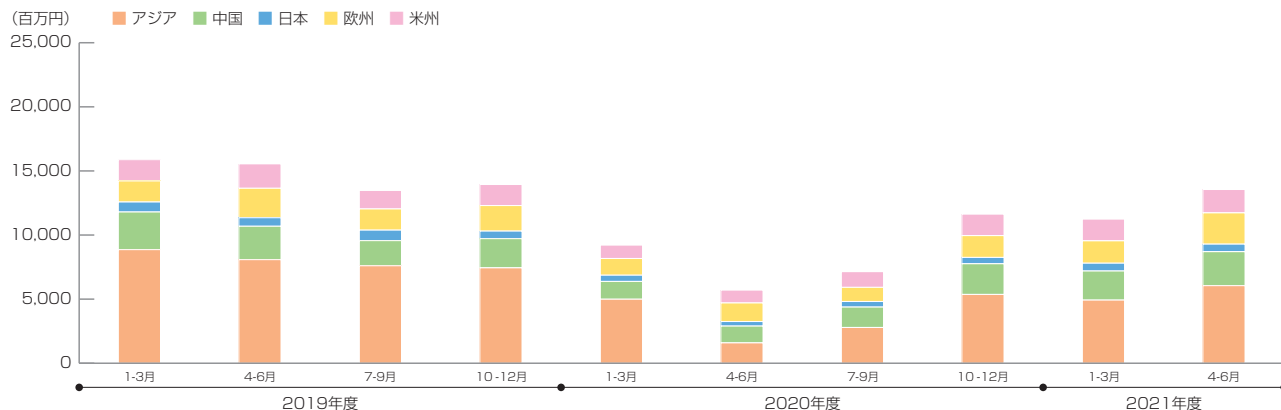


## 縫製機器&システム事業（工業用マシン・家庭用マシン）

■ 工業用マシンは、欧米、中国等の市場の活性化により縫製工場の稼働率が向上し、前年同期比66%増加。

■ 家庭用マシンは、年初までの新型コロナウイルス感染拡大に伴う巣ごもり需要拡大により、前年同期比28%増加。

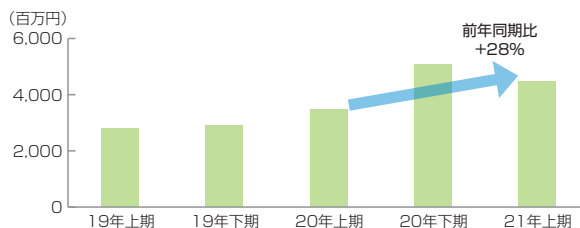
### 1. 工業用マシンの地域別売上高推移（月次集計ベース）



### ● 工業用マシンの売上高：前年同期比較（単位：億円）

|        | 2020年度上期<br>(1-6月) | 2021年度上期<br>(1-6月) | 増減額 | (増減率)  |
|--------|--------------------|--------------------|-----|--------|
| 中国     | 27                 | 49                 | +22 | (+82%) |
| アジア    | 66                 | 110                | +44 | (+67%) |
| 中国+アジア | 93                 | 159                | +66 | +71%   |
| 日本     | 8                  | 12                 | +4  | (+42%) |
| 欧州     | 28                 | 42                 | +14 | (+52%) |
| 米州     | 20                 | 35                 | +15 | (+72%) |
| 合計     | 149                | 248                | +99 | +66%   |

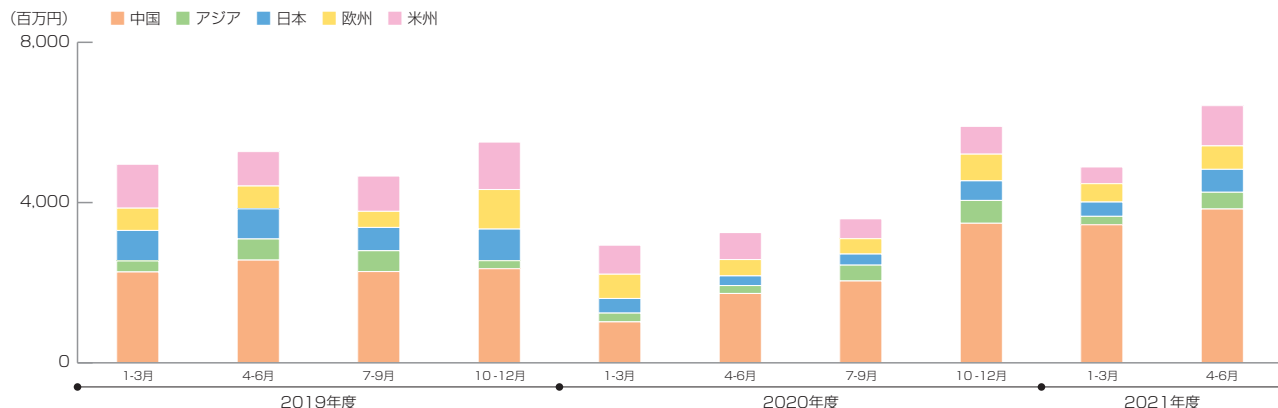
### 2. 家庭用マシンの売上推移



## 産業機器&システム事業（産業装置、グループ事業、カスタマービジネス）

産業装置は、中国等を中心に5G関連等の設備投資需要を捉え、高速機を中心に戦略的な拡販を進めた結果、前年同期比で83%増加。

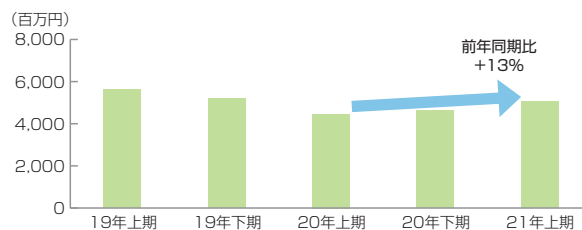
### 1. 産業装置の地域別売上高推移（月次集計ベース）（含むパーツ・サービス）



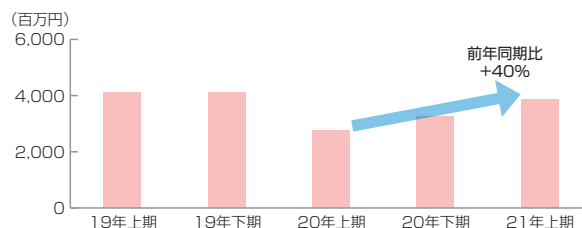
#### ● 産業装置の売上高：前年同期比較（単位：億円）

|        | 2020年度上期<br>(1-6月) | 2021年度上期<br>(1-6月) | 増減額 | (増減率)   |
|--------|--------------------|--------------------|-----|---------|
| 中国     | 28                 | 73                 | +45 | (+165%) |
| アジア    | 4                  | 6                  | +2  | (+51%)  |
| 中国+アジア | 32                 | 79                 | +47 | +150%   |
| 日本     | 6                  | 9                  | +3  | (+53%)  |
| 欧州     | 10                 | 10                 | +0  |         |
| 米州     | 14                 | 14                 | +0  |         |
| 合計     | 62                 | 113                | +51 | +83%    |

### 2. グループ事業の売上推移



### 3. パーツ事業の売上推移



## 1. 2021年度通期業績予想

(億円)

|             | 2021年度<br>上期(1-6月) | 2021年度<br>通期(1-12月) | 2020年度<br>通期(1-12月) | 前年通期差異<br>(A - B) |
|-------------|--------------------|---------------------|---------------------|-------------------|
|             | 実績                 | 予想<A>               | 実績<B>               | [ ]は増減率           |
| 売上高         | 470                | 1,000               | 704                 | + 296 [+ 42.0%]   |
| (縫製機器&システム) | (290)              | (620)               | (427)               | (+ 193) [+ 45.2%] |
| (産業機器&システム) | (179)              | (377)               | (274)               | (+ 103) [+ 37.6%] |
| 営業利益        | 19                 | 31                  | △45                 | + 76              |
| 経常利益        | 17                 | 28                  | △40                 | + 68              |
| 当期純利益       | 12                 | 20                  | △47                 | + 67              |
| 配当          | —                  | 通期：25円/株            | 通期：20円/株            | + 5円              |
| 為替レート       | 1ドル=108円           | 1ドル=102円            | 1ドル=107円            | △5円               |

## 2. 環境認識

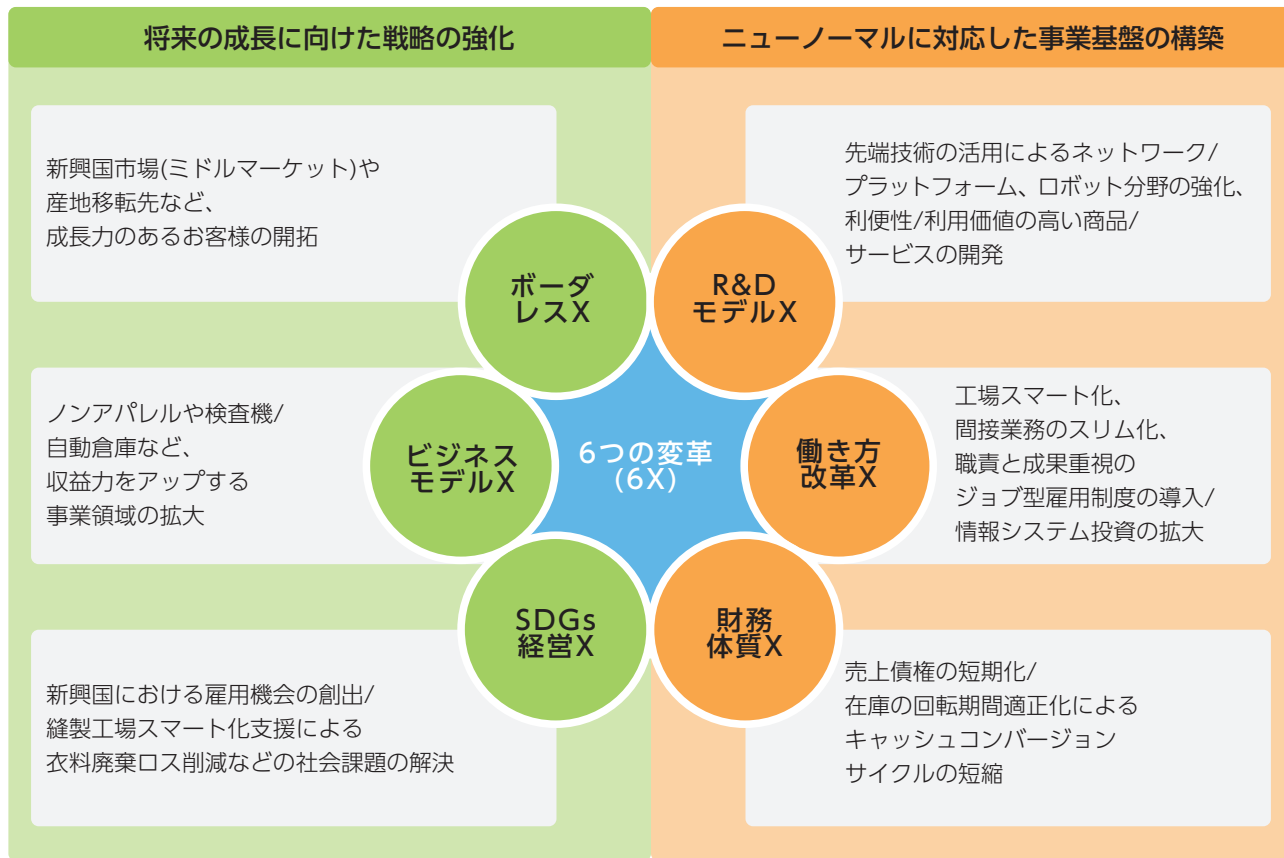
### ■ ニューノーマルに対応した新しいビジネスモデル/経営基盤の構築が必須

|       |  |
|-------|--|
| 事業環境  | <p><b>ニューノーマルへの対応</b><br/>各国でロックダウンが続く等、未だコロナ影響は続くものの、市場は回復傾向（顧客ニーズは更に深化/多様化）</p> <p><b>米中貿易摩擦</b><br/>バイデン政権による対中政策（経済/安全保障/人権）の影響により、サプライチェーン分断リスクが更に高まる。<br/>また半導体等の電子部品の供給不足への対応が課題</p> <p><b>技術革新の加速</b><br/>AI/IoT/5G等、先端技術を活用した製品/サービスの市場への導入拡大</p> |
| 競争環境  | <p><b>工業用ミシン</b>：競合他社は新興国に加え、ニッチ分野で拡大<br/><b>産業装置</b>：各マウンタメーカーはライン総合提案に向け、事業領域を拡大<br/>⇒競争は更に激化し、低価格化が進む</p>   |
| 社会的要請 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・カーボンニュートラル等、環境負荷低減に向けた取り組みへの対応</li> <li>・働き方改革の推進（デジタル化、リモートワーク、ダイバーシティ）</li> <li>・コンプライアンスの遵守/コーポレートガバナンスの強化</li> </ul>   |

## 1. 6つの変革

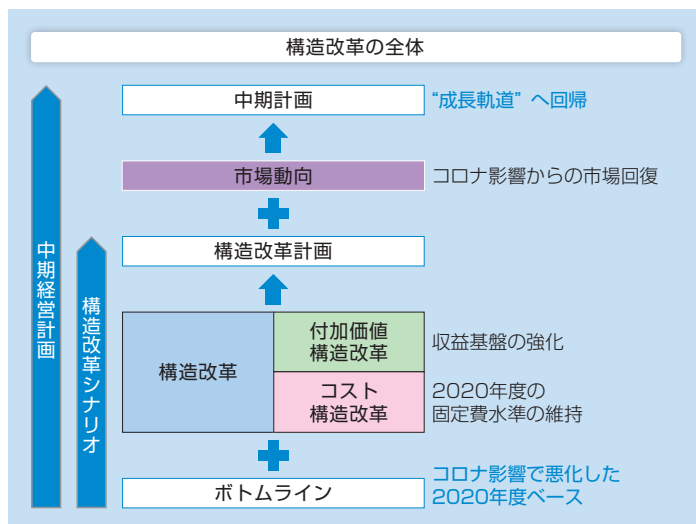
■ 6つの変革（6X<sup>\*</sup>）=JUKIの成長エンジン（※X=Transformation）

これらの6つの変革に向けた取り組みを重点とし、構造改革のスピードを更に加速。



## 2. 基本的考え方

- コロナ影響は2021年度下期より回復基調、2022年度は2019年度水準の経済活動へ回復
- コスト構造改革で固定費の岩盤水準を維持、付加価値構造改革で収益基盤を強化
- 6つの変革（6X）を軸に“稼げるモデル”への変革を加速させ、“成長軌道”へ回帰



| 6つの変革（6X） |   |
|-----------|---|
| 成長戦略      | ① ボータレスX<br>成長力のある市場・お客様の開拓               |
|           | ② ビジネスモデルX<br>収益力をアップする事業領域の拡大            |
|           | ③ SDGs経営X<br>“持続可能”な経営の実現                 |
| 事業改革      | ④ R&DモデルX<br>イノベーティブな事業領域の拡大              |
|           | ⑤ 働き方改革X<br>経営の5Sを軸とした生産体制及び管理（間接）業務体制の構築 |
|           | ⑥ 財務体質X<br>財務体質強化による自己資本強化と資産効率向上         |

## 3. ビジョン

- フェーズⅡとして2022年度にめざす姿（ゴール）

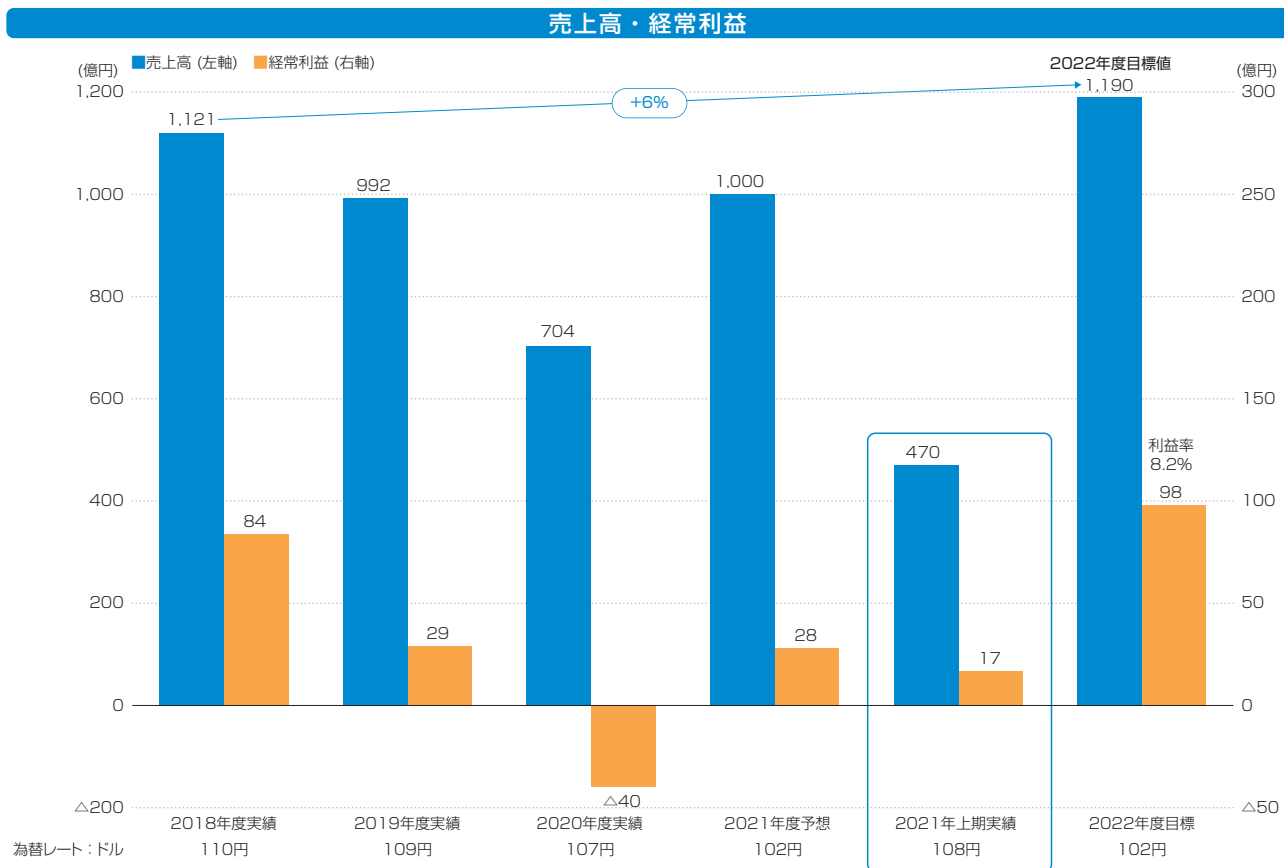
|           |   |
|-----------|---|
| 2022年ビジョン | お客様とJUKIが製品・サービスを通じて企業価値を向上できる“モノ・コト”づくり企業<br>～ スマートファクトリーに向けてWin-Winのパートナーへ～ |
| 継続成長      | 既存事業の拡大に加え、「事業領域拡大/新規事業創出」による継続的な収益確保   |
| 収益性       | 高付加価値事業分野の拡大による収益力強化<br>(縫製：ノンアパ/非縫製、産装：非SMT、G事業：エンジニアリング事業、CBC：サービス事業)       |
| 生産性       | スマートでスリムな経営基盤構築   |
| 安定性       | 安定した財務基盤構築  |



## 4. 進捗状況 —売上高/経常利益—

■売上高 : 2021年度上期 470億円 (2021年計画対比: 47%の進捗率)

■経常利益 : 2021年度上期 17億円 (2021年計画対比: 60%の進捗率)



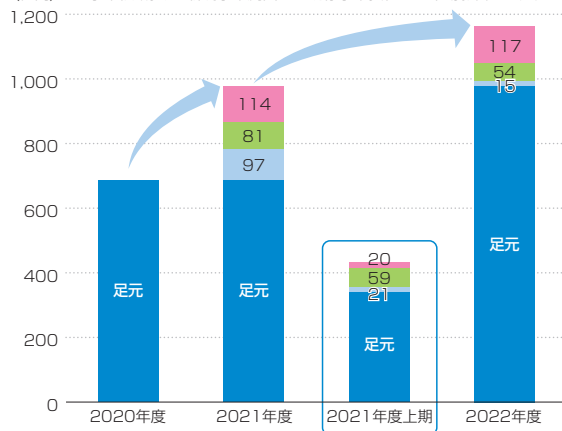
## 5. 進捗状況 —付加価値構造改革—

「顧客基盤の強化」に向けた取り組みは進む一方で、  
「高付加価値事業分野の拡大」を軸とした取り組みの強化が課題

### 付加価値構造改革

為替：計画レート基準（1ドル=97円、1ユーロ=110円）

（億円） ■事業領域拡大/新規事業創出 ■既存事業強化 ■市場影響 ■足元

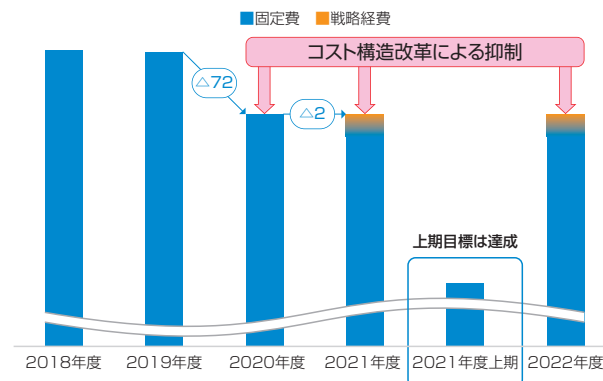


| 区分                | 主な取り組み  |
|-------------------|---|
| 既存事業強化            | 顧客基盤の強化<br>(縫製：ミドルマーケットでの売上拡大<br>産装：グローバル顧客への対応強化)  |
| 事業領域拡大/<br>新規事業創出 | 高付加価値事業分野の<br>拡大による収益力強化<br>(縫製：ノンアパ/非縫製<br>産装：非マウンタ分野<br>(MI・ロボット検査/計測、自動倉庫)<br>グループ事業：エンジニアリング事業<br>カスタマービジネス：サービス事業) |

## 6. 進捗状況 —コスト構造改革—

目標としている2020年固定費水準でのコスト構造改革は、順調に推移中

### コスト構造改革



| 区分      | 主な取り組み  |
|---------|---|
| 生産コスト改革 | ・工場スマート化の効果刈り取り<br>・工場製造規模の適正化                                  |
| 人事コスト改革 | ・本社管理間接機能のスリム化<br>・職責と成果主義のジョブ型<br>雇用制度の導入<br>・新勤務フォーマーメーションの徹底 |
| 販売コスト改革 | ・仕事改革による営業の生産性向上  |

## 7. 事業ポートフォリオの変革

ボーダレスX

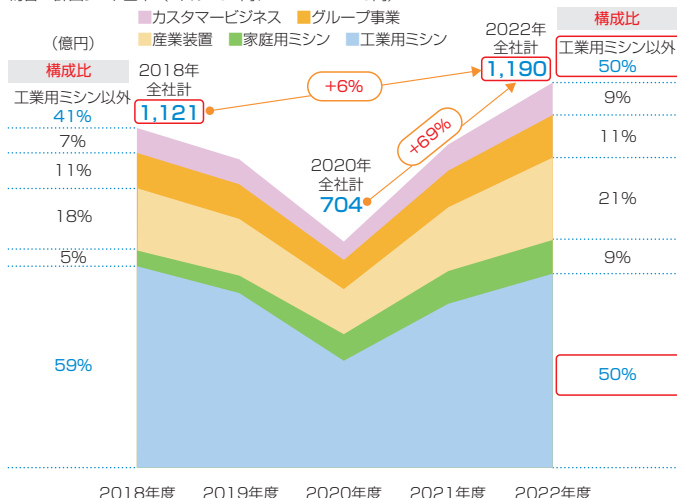
ビジネスモデルX

■ 既存事業の強化に加え、事業領域拡大・新規事業創出により、

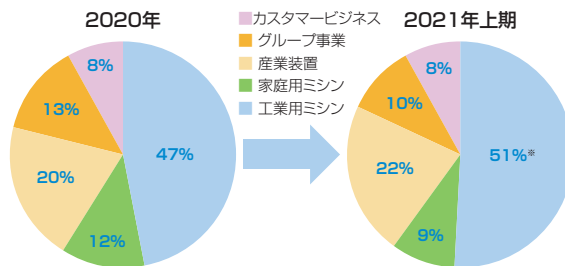
工業用マシン以外の売上高構成比を2018年41%→2022年50%へ拡大

### 2021-2022ビジョン 事業ポートフォリオ

為替：計画レート基準（1ドル=97円、1ユーロ=110円）



### 事業ポートフォリオ変革の進捗



※ 工業用マシンの需要回復により、2020年対比では増加

### 下期重点取り組み

- 工業用マシン：高収益分野の営業力強化/新商品の拡販
- 産業装置：非マウンタ/非SMT分野の販売拡大
- グループ事業：エンジニアリング事業強化
- カスタマービジネス：サービス事業拡大

## 8. アライアンスの強化

ボーダレスX

ビジネスモデルX

■ 自社だけでなく、他社とのオープンイノベーションを更に強化

他社との連携強化により、高付加価値分野への取り組みを更に加速

### 主なアライアンス

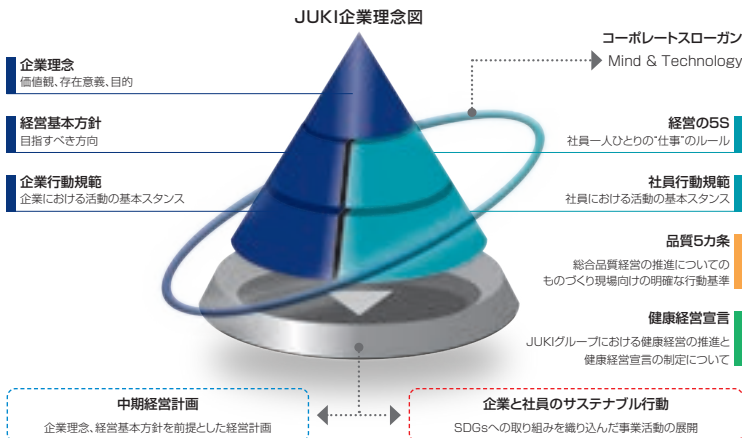
| セグメント | 会社名                      | 提携種類             | 提携開始     | 主な取り組み                          |
|-------|--------------------------|------------------|----------|---------------------------------|
| 縫製機器  | ベガサスマシン製造株式会社            | 事業提携             | 2021年4月  | ニットのミドル市場向け工業用マシンの開発と新規開拓       |
|       | YKK株式会社                  | 技術提携/商品開発        | 2019年3月  | ファスナーの自動縫製機の開発/生産               |
| 産業機器  | ESSEGI AUTOMATION S.r.l. | 資本提携             | 2019年8月  | 電子部品の自動倉庫の開発/生産                 |
|       | 株式会社XTIA                 | 技術・生産提携          | 2020年2月  | XTIA社のレーザー技術とJUKIの外観検査技術による領域拡大 |
|       | 株式会社日立製作所                | 事業提携             | 2018年10月 | 日立グループとの“協創”による事業拡大             |
|       | シークス株式会社                 | 資本提携<br>(合併会社設立) | 2012年7月  | 上海シークスによる電装製品供給                 |
|       | 株式会社キャストム                | 事業提携             | 2021年4月  | 製造領域・技術を活用した受注領域の拡大             |

## 9. SDGs経営の徹底

SDGs経営X

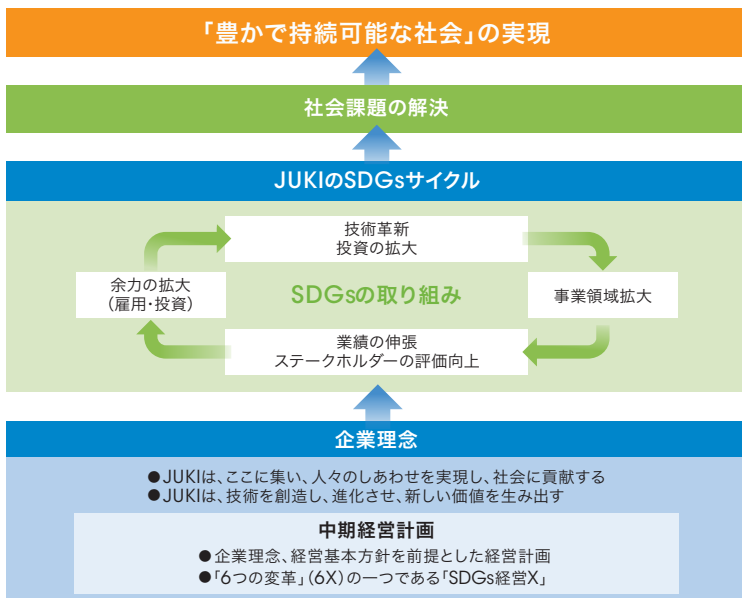
■当社とステークホルダー双方にとって重要な社会課題の解決に向け、事業を通して取り組みます。

“持続可能”な経営の実現



JUKIは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

### JUKIのSDGsサイクル



JUKIグループは、社員一人ひとりが企業理念と中期経営計画にもとづいた事業活動を着実に進めることで、SDGsが目指す『豊かで持続可能な社会』の実現に向けた社会課題の解決に取り組みます。特に、気候変動をはじめとした地球環境問題が深刻度を増す中、カーボンニュートラルの達成を目指します。

# JUKIの施策

## JUKIの取り組み内容

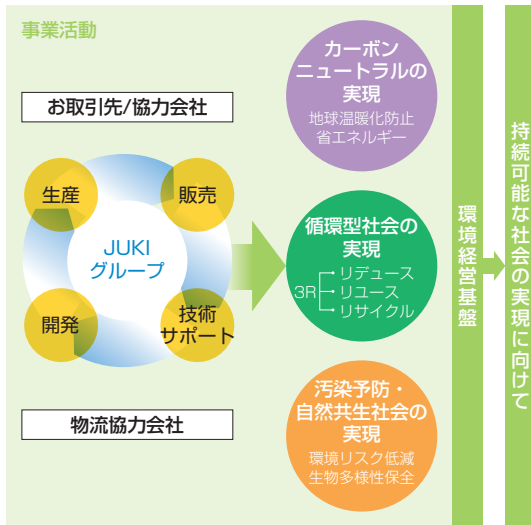
## 社会課題の解決

|                       |   |   |   |
|-----------------------|---|---|---|
| お客様工場<br>に対する<br>取り組み | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 新興国における雇用新規創出</li> </ul>   | 雇用機会の創出   |    |
|                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 職業教育支援を通じた労働者人口増加と労働者の待遇改善などの実現</li> </ul>   | 様々な人材の<br>社会参加推進  |    |
|                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 安全・安心な縫製工場構築のための支援</li> </ul>  | 労働安全衛生の確保   |    |
|                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 縫製工場、実装工場のスマート化、技術革新支援</li> <li>● 「短期間で良質な製品をローコストで生産する工場」の実現</li> <li>● 適量生産を実現する仕組みの提供</li> <li>● 実装工場における前後工程インフラの改良</li> </ul> | 生産面からの<br>衣料廃棄ロスへの<br>貢献<br><br>電子産業の<br>生産性向上による<br>技術革新支援 |    |
| JUKI内での<br>取り組み       | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 事業活動を通じた環境負荷低減活動</li> <li>● 製品ライフサイクルにおける環境配慮</li> </ul>   | 環境負荷の低減   |  |
|                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>● ダイバーシティ推進による組織の活性化</li> <li>● 働き方改革、やりがいの促進、人材教育</li> </ul>  | 働きやすい環境整備   |  |
|                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>● コーポレート・ガバナンス体制の充実</li> <li>● コンプライアンスの徹底およびリスクマネジメントの強化</li> </ul>   | ガバナンスの強化  |  |

## カーボンニュートラルの実現に向けた取り組み

■ 気候変動をはじめとした地球環境問題は深刻度を増す中、JUKIはこれまでの取り組みを更に高め、2050年カーボンニュートラル実現を目指します。

### 【環境ビジョン】



### 【カーボンニュートラルに向けた取り組み】

|         |  |  |
|---------|--|--|
| 調達/物流   |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・グリーン調達の強化/リサイクル材の使用率向上</li> <li>・更なるモーダルシフトへの切替</li> </ul> |
| 開発      |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネ・省資源な製品の開発</li> <li>・リサイクル性の高い素材の活用</li> </ul>          |
| 生産      |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・低炭素な燃料への切替</li> <li>・よりスマートな生産方式への切替</li> </ul>            |
| 建物      |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽光パネルの導入推進</li> <li>・省エネルギー設備への切替推進</li> </ul>            |
| 製品/サービス |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・お客様工場のスマート化/省エネルギー化の支援</li> <li>・中古機の引取/再生販売</li> </ul>    |

## 雇用機会の創出に向けた取り組み

■ 縫製業は開発途上国における労働集約型の産業として、工業用ミシン事業を通じてその成長をサポートしています。単純労働集約型から人にやさしい労働環境への改善を、設備、システムを活用した工場のスマート化により実現します。

### 開発途上国の雇用機会の創出

1959年に縫製能率研究所を設立し、「材料・装置・人」の力を最大限に引き出し、最高のパフォーマンスを生み出すための生産管理、IE技術を用いたサポート活動を開始しました。

この活動をベースに開発途上国の輸出産業を育成し、国の豊かさや雇用の創出につながるODA（政府開発援助）事業に参画しています。カンボジア、ミャンマー、ガーナ、マダガスカルなど、政府機関と連携し、アパレルトレーニングセンターへの設備提供や教育訓練などを多くの国で実施しています。

目指す姿は、受講者自身が管理者などのキーマンに成長し、開発途上国における雇用の循環を生み出すことです。



## 1. 工業用マシンのビジョンと基本方針

### ビジョン

JUKI Smart Solutionsのもと、  
革新的技術とシステム提案によりお客様のイノベーションに貢献

### 基本方針

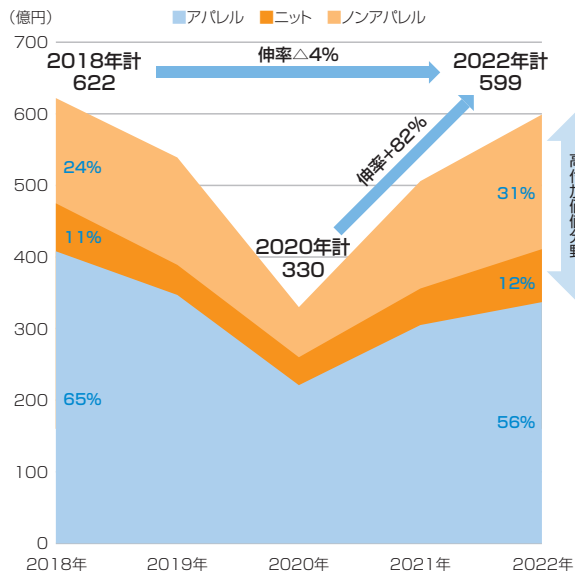
- ・アパレル/ノンアパレルでのシェアNo.1 堅持
- ・ニット分野の対応強化

## 2. 2022年目標値と下期重点取り組み

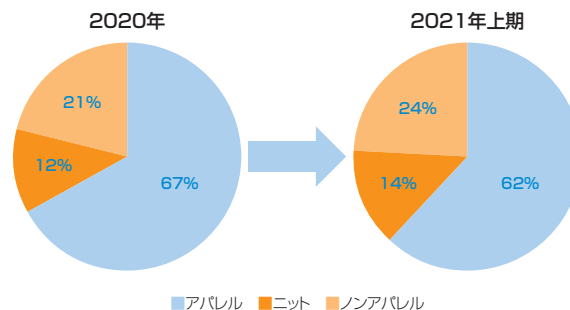
### 2022年目標値

為替：計画レート基準（1ドル=97円、1ユーロ=110円）

※ 青字は売上高構成比



### 事業ポートフォリオ変革の進捗



### 下期重点取り組み

- ・新興国ミドル市場向け機種種の展開によるシェア拡大
- ・ノンアパレル体制強化と領域拡大

## 1. 家庭用ミシンのビジョンと基本方針

### ビジョン

趣味力の高いお客様（Home Sewer）と新たな楽しみの創造

### 基本方針

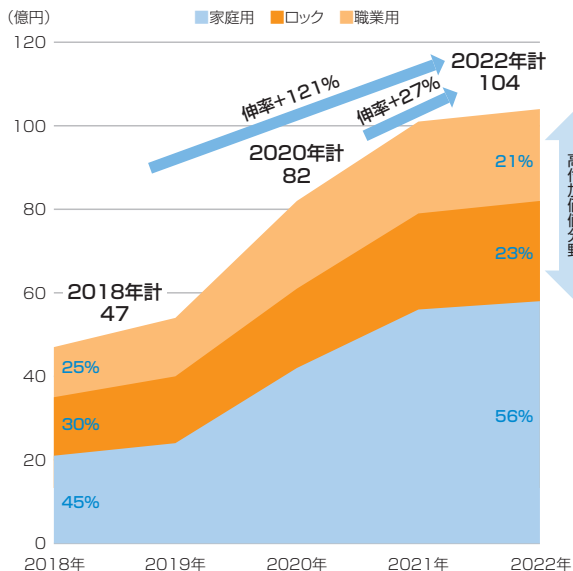
強みである高級家庭用・小型ロック・職業用・キルトを中心に事業を拡大

## 2. 2022年目標値と下期重点取り組み

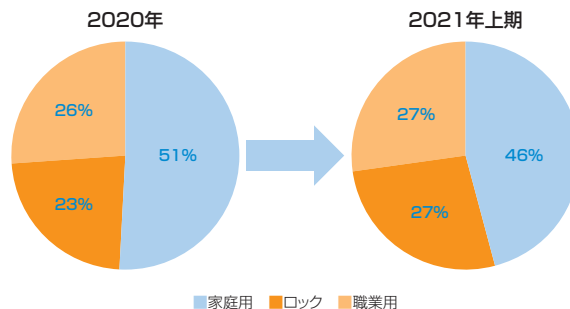
### 2022年目標値

為替：計画レート基準（1ドル=97円、1ユーロ=110円）

※ 青字は売上高構成比



### 事業ポートフォリオ変革の進捗



### 下期重点取り組み

- ・ 新製品による拡販
- ・ SNSやWEBソーイングフェスティバル等による情報発信を通じた新規ユーザー獲得



## 1. 産業装置のビジョンと基本方針

### ビジョン

既存分野での事業基盤拡大と自動化・省人化ソリューションで、顧客にとってなくてはならない事業パートナーへ～高速機市場の販売拡大（中国）、自動化・省人化（JM+ロボット・検査計測・ISM強化）

### 基本方針

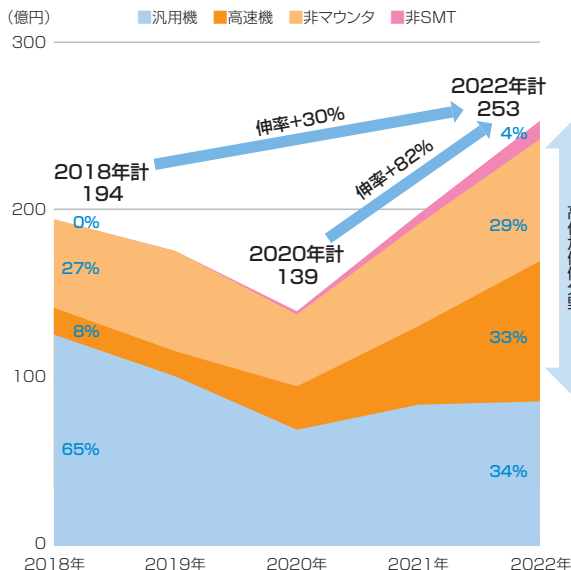
非マウンタ領域でのソリューション拡大・顧客開拓と、マウンタ領域での高速機強化によるラインソリューション拡充で事業基盤を拡大

## 2. 2022年目標値と下期重点取り組み

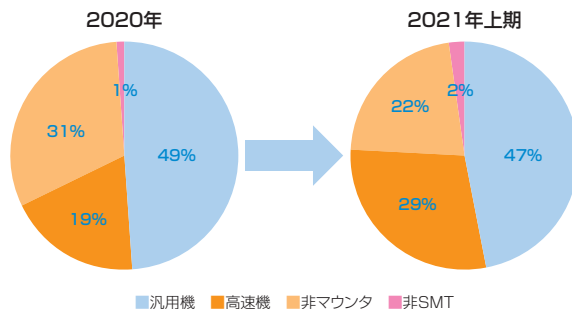
### 2022年目標値

為替：計画レート基準（1ドル=97円、1ユーロ=110円）

※ 青字は売上高構成比



### 事業ポートフォリオ変革の進捗



### 下期重点取り組み

- ・ 新製品RX-8（高速機）とJM50（入機）の拡販
- ・ 非マウンタ製品（自動倉庫・JM+ロボット・検査+計測）での継続的な市場開拓

## 1. グループ事業のビジョンと基本方針

### ビジョン

JUKIグループの経営資源（製造技術含む）を活かし、JUKI第三の柱へ

### 基本方針

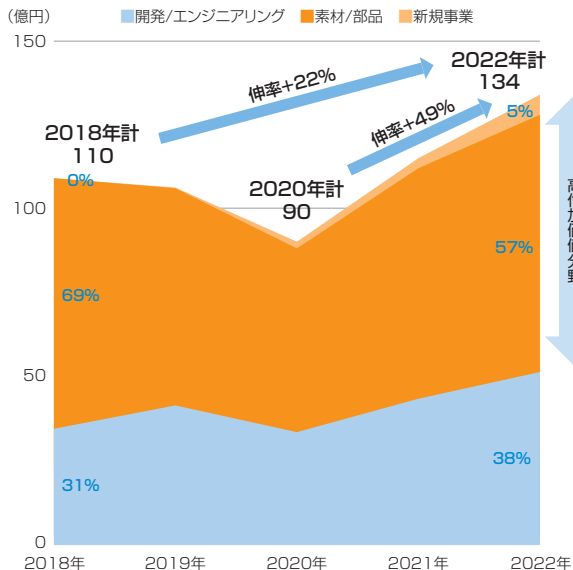
新規顧客開拓と重要顧客の間口拡大で第三の柱となるべく売上を拡大

## 2. 2022年目標値と下期重点取り組み

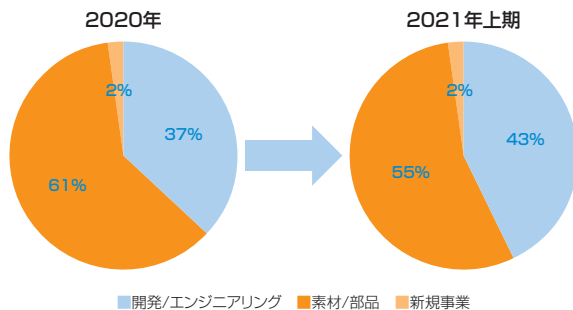
### 2022年目標値

為替：計画レート基準（1ドル=97円、1ユーロ=110円）

※ 青字は売上高構成比



### 事業ポートフォリオ変革の進捗



### 下期重点取り組み

- ・エンジニアリング事業の強化
- ・新規商材の拡販
- ・アジア地区での販売拡大

## 1. カスタマービジネスのビジョンと基本方針

### ビジョン

今日頼んだものが、明日必ず手に入るJUKI部品

### 基本方針

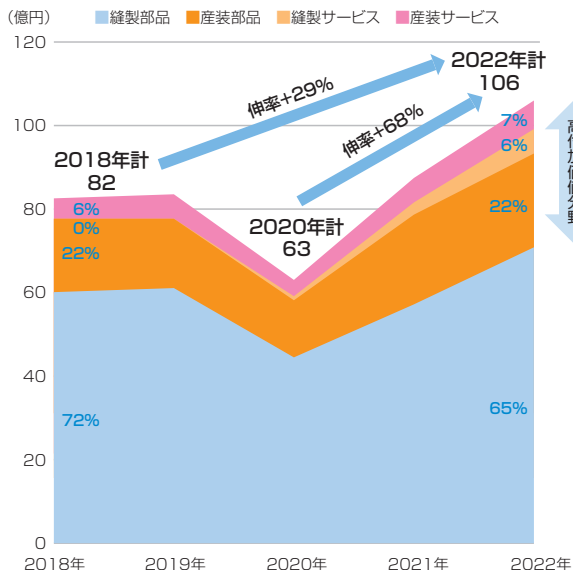
縫製、産装の垣根を越えて『モノ』売りから『コト』売りへ  
～付加価値拡大にて顧客囲い込み加速～

## 2. 2022年目標値と下期重点取り組み

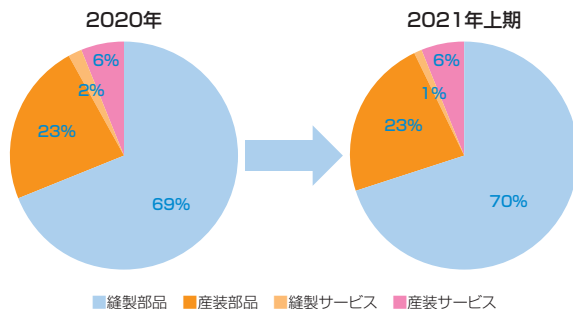
### 2022年目標値

為替：計画レート基準（1ドル=97円、1ユーロ=110円）

※ 青字は売上高構成比



### 事業ポートフォリオ変革の進捗



### 下期重点取り組み

- ・縫製 JUKI ShuHaRi（マシン点検サポートアプリ）による部品販売
- ・産装 リモートサービスによる保守サポート部品販売

## 中間連結財務諸表（要旨）

### 中間連結貸借対照表

(百万円)

| 科目           | 前期<br>2020年12月31日現在 | 当第2四半期<br>2021年6月30日現在 | 増減     |
|--------------|---------------------|------------------------|--------|
| <b>資産の部</b>  |                     |                        |        |
| 流動資産         | 75,990              | 83,989                 | 7,999  |
| 固定資産         | 34,240              | 34,514                 | 274    |
| 資産合計         | 110,230             | 118,503                | 8,273  |
| <b>負債の部</b>  |                     |                        |        |
| 流動負債         | 49,952              | 57,311                 | 7,359  |
| 固定負債         | 28,909              | 27,421                 | △1,488 |
| 負債合計         | 78,861              | 84,732                 | 5,871  |
| <b>純資産の部</b> |                     |                        |        |
| 株主資本         | 34,501              | 35,137                 | 636    |
| その他の包括利益累計額  | △3,468              | △1,724                 | 1,744  |
| 非支配株主持分      | 335                 | 358                    | 23     |
| 純資産合計        | 31,368              | 33,771                 | 2,403  |
| 負債純資産合計      | 110,230             | 118,503                | 8,273  |

### 中間連結損益計算書

(百万円)

| 科目  | 前第2四半期<br>2020年1月1日から<br>2020年6月30日まで | 当第2四半期<br>2021年1月1日から<br>2021年6月30日まで | 増減     |
|---|---------------------------------------|---------------------------------------|--------|
| 売上高                                       | 30,496                                | 47,098                                | 16,602 |
| 売上原価                                      | 23,750                                | 34,237                                | 10,487 |
| 売上総利益                                     | 6,745                                 | 12,860                                | 6,115  |
| 販売費及び一般管理費                                | 10,214                                | 10,951                                | 737    |
| 営業利益又は営業損失(△)                             | △3,468                                | 1,908                                 | 5,376  |
| 営業外収益                                     | 873                                   | 633                                   | △240   |
| 営業外費用                                     | 847                                   | 826                                   | △21    |
| 経常利益又は経常損失(△)                             | △3,442                                | 1,716                                 | 5,158  |
| 特別利益                                      | 30                                    | 5                                     | △25    |
| 特別損失                                      | 223                                   | 12                                    | △211   |
| 税金等調整前四半期純利益又は<br>税金等調整前四半期純損失(△)         | △3,635                                | 1,708                                 | 5,343  |
| 法人税等                                      | 307                                   | 464                                   | 157    |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△)                         | △3,942                                | 1,244                                 | 5,186  |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益又は<br>非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | △40                                   | 22                                    | 62     |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は<br>親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | △3,902                                | 1,221                                 | 5,123  |

## 会社情報 (2021年6月30日現在)

### ■ 会社概要

|        |                     |
|--------|---------------------|
| 商号     | JUKI株式会社            |
| 創立     | 1938年12月15日         |
| 資本金    | 180億4,471万円         |
| 本社     | 東京都多摩市鶴牧二丁目11番地1    |
| 決算期    | 12月                 |
| 営業品目   | 工業用マシン／産業装置／家庭用マシン他 |
| 従業員数   | 5,303名(連結)          |
| 連結子会社数 | 25社                 |

### ■ 株式の状況

- 発行可能株式総数…………… 80,000,000株
- 発行済株式総数…………… 29,874,179株
- 株主数…………… 11,756名

## JUKI 株式会社

〒206-8551 東京都多摩市鶴牧二丁目11番地1  
TEL: 042-357-2211

<https://www.juki.co.jp>

### ■ 大株主

| 株主名                                       | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|---|---------|---------|
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)                   | 1,810   | 6.18    |
| 株式会社日本カストディ銀行(信託口)                        | 998     | 3.40    |
| 株式会社みずほ銀行                                 | 938     | 3.20    |
| BNP PARIBAS SECURITIES SERVICESLUXEMBOURG | 805     | 2.74    |
| 日本生命保険相互会社                                | 732     | 2.49    |

(注) 持株比率は自己株式(579,129株)を控除して計算しております。

### ■ 所有者別株式分布状況

